



2017 Takarasienne Interview

宙組
あさか
朝夏まなとさん

2月3日に開幕した宙組宝塚大劇場公演。浅田次郎氏の同名コメディ小説をミュージカル化した『王妃の館 -Château de la Reine-』と、世界のフェスタ(祭り)を情熱的に綴る『VIVA! FESTA!』、宝塚の楽しさを堪能できる2本立てです。稽古中だった1月、宙組トップスター・朝夏まなとさんに意気込みを伺いました。

ワクワク感満載の喜劇に 宙組がパワー全開で挑む!

1 『王妃の館』の役作りについて教えてください。

私が演じる北白川右京は、セレブ気取りの恋愛小説家。天才肌で、自分のことしか考えない“変わった人”です(笑)。右京のそんな部分を、宝塚の舞台としてどう演じるかが難しいのですが、「この小説がもしマンガだったら…」と想像し、ややデフォルメした“2.5次元”の世界を作るような感覚で演じています。個性的な人物たちが騒動を起こす明るいコメディ作品ではありますが、物語としては心温まる内容。右京も周りの人々との関わりの中で、自分に足りないものに気付かされていきます。また、ルイ14世のかつての居城を舞台にした物語ですので、原作同様、現代と過去が交錯する場面もありますが…詳しくは劇場でお確かめください(笑)。

2 ショーの見どころは?

“ザ・宝塚!”という感じの正統派ショーです。世界中のお祭りを巡る構成になっていて、幕開きはサンバから。中詰は日本のYOSAKOIソーラン祭り、フィナーレでは実咲凜音とのデュエットダンスはもちろん、大階段を使った黒燕尾でのダンスシーンもあります。振付がとても格好良いので、ぜひご期待ください!



3 今回は、相手役の実咲凜音さんの退団公演ですが 今の心境をお聞かせください。

実咲とは、今の立場に立たせていただく前から組む機会があったので、彼女がどんどん成長していくのをいつもそばで感じていました。一緒に舞台上に立つ上で、私が演じやすいように…ということを常に考えてくれていたので、今回は「最後の公演だからこそ、自分自身のために舞台上に立ってほしい」と伝えたいです。ただ、最後だからと意識し過ぎるのではなく、互いに普段通り集中して取り組みたいですね。二人の集大成となるような良い舞台を作り上げ、華々しく見送りたいと思っています。

PROFILE 朝夏まなとさん

佐賀県出身。2002年「ブラハの春」で初舞台。
2015年2月、宙組トップスターに就任。愛称は
“まあ”“まなど”。